

日本神経内分泌学会 評議員会・総会 議事録

日 時：2014年11月1日（土）13：50～14：15

場 所：都道府県会館（東京） 402号会議室

【議 題】

1. 役員改選、次期理事長選任等の件 [審議事項]
2. 定款等改正の件 [審議／報告事項]
3. 2013年度庶務報告 [報告事項]
4. 2013年度決算、2014年度見込、2015年度予算の件 [審議事項]
5. 2016年度学術集会会長の件 [審議事項]
6. 名誉会員・功労評議員推薦、評議員再任、新評議員の件 [審議事項]
7. 特別功労賞、学会賞、川上賞、若手研究帝人ファーマ助成金、若手研究奨励賞（YIA）の件 [審議／報告事項]
8. Newsletter 発行について [報告事項]
9. 第42回学術集会の準備状況について [報告事項]
10. その他
 - 1) 2018年度日本内分泌学会学術総会の会長候補推薦について [報告事項]
 - 2) 国際神経内分泌連盟（INF）の役員について [報告事項]
 - 3) 第8回国際神経内分泌学会議（ICN2014、シドニー）について [報告事項]
 - 4) 日本脳科学関連学会連合：第3回評議員会について [報告事項]
 - 5) 第89回日本内分泌学会学術総会 第1回プログラム委員会について [報告事項]
 - 6) その他

【ご挨拶など】

現理事長、新理事長、
第43回学術集会会長
第41回学術集会会長：開催に当って

評議員会・総会の開会にあたって大磯ユタカ 理事長より出席人数の確認があり、定款第20条及び第25条の定足数（評議員会63名、総会174名）を満たす出席者（評議員会81名、総会204名、委任状を含む）があることから、本評議員会・総会は成立する旨の報告があった。

引き続き定款23条により、議長に岩崎泰正 学術集会会長（会計担当常務理事）が選出

され、岩崎会長の司会により議事が進められた。

1. 役員改選、次期理事長選任等の件〔審議事項〕

昨年末に実施された評議員による理事選挙、本年4月25日の理事会で実施された選挙選出次期理事による次期理事長の選出、次期理事長推薦の理事および監事、各理事の担当会務について、大磯理事長から報告され、次期役員と体制が満場一致で承認された。

選挙選出次期理事：島津 章、大磯 ユタカ、上田 陽一、岩崎 泰正、河田 光博、中里 雅光、井樋 慶一、小澤 一史、前多 敬一郎、高野 幸路、沖 隆、尾仲 達史

次期理事長：島津 章

次期理事長推薦理事：西 真弓、高橋 裕、伊達 紫

理事長推薦監事：有田 順、汾陽 光盛

次期役員 任期は、2014年学術集会総会翌日～2016年学術集会総会日

島津 章	理事長	国立病院機構 京都医療センター
井樋 慶一	常務理事（庶務）	東北大学大学院 情報科学研究科
大磯 ユタカ	理事（庶務）	名古屋大学大学院 医学系研究科
尾仲 達史	理事（庶務）	自治医科大学 医学部
西 真弓	理事（庶務）	奈良県立医科大学 第一解剖学
岩崎 泰正	常務理事（会計）	高知大学 教育研究部
小澤 一史	理事（会計）	日本医科大学大学院 医学研究科
沖 隆	理事（会計）	浜松医科大学 医学部
上田 陽一	常務理事（企画広報）	産業医科大学 医学部
高野 幸路	理事（企画広報）	北里大学 医学部
伊達 紫	理事（企画広報）	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター
中里 雅光	常務理事（次世代育成）	宮崎大学 医学部 内科学講座
河田 光博	理事（次世代育成）	京都府立医科大学大学院 医学研究科
前多 敬一郎	理事（次世代育成）	東京大学大学院 農学生命科学研究科
高橋 裕	理事（次世代育成）	神戸大学大学院 医学研究科
有田 順	監事	山梨大学大学院 医学工学総合研究部
汾陽 光盛	監事	北里大学 獣医学部

2. 定款等改正の件〔審議／報告事項〕

本年4月25日の理事会において提案された定款並びに定款施行細則の改正について、大磯理事長から報告され、満場一致で承認された。

【定款の改正要約】第14条の理事長任期について、現行の「4年」を選挙選出理事の任期と合わせて「2年×2期」に改正するとともに、同条第2項の選挙選出理事の連続しての再任については、「理事会の推薦」を不要として削除するとともに「評議員会・総会の選任決議を経て」のみとする。

【定款施行細則の改正要約】日本神経内分泌学会定款施行細則において、選挙選出理事が（年齢制限等で）1期で退任するときの後任の選挙選出理事の選出手続きならびに常務理事会の設置について記載する。

続いて、大磯理事長より、2014年4月25日の理事会において承認され、発行している「若手研究助成金制度に係る内規」の改正が報告された。

【規定・内規の改定要約】2件以上の採択は財政的に不可能な状況であることから、本学会の「若手研究助成金制度の規程」の8項「受領者を原則1名とする」並びに「若手研究助成金制度に係る内規」の3の2項「研究助成金受領者として、選考委員の評価の高いものから原則1名を採択する」の「原則1名」を「1名以下」にそれぞれ改定する。

3. 2013年度庶務報告〔報告事項〕

島津章 庶務担当常務理事より、2013年度の庶務報告として、会員の異動状況、40日本神経内分泌学会学術集会（10月：宮崎）、評議員会・総会（10月：宮崎）、理事会（2月：持ち回り、4月：仙台、10月：宮崎）並びに会誌の発行（No.18 および No.19）について説明された。

4. 2013年度決算、2014年度見込、2015年度予算の件〔審議事項〕

岩崎常務理事（第41回学術集会会長）より、2013年度収支決算が報告された。会費および広告料収入増により当期収入は予算を上回り、一方、一部の管理費減により支出は予算を下回った結果、当初の赤字予測幅は縮小されたことが報告された。また、第40回学術集会の会計についても報告があった。前多、有田両監事から、「両決算は適正に執行されていることを確認した」との監査報告があり、2012年度の決算は満場一致で承認された。

続いて、岩崎常務理事より2014年度収支見込及び2015年度予算について説明があった。2014年度収支見込については、日本脳神経財団からの助成打ち切りによる赤字幅拡大の決算を見込むこと、2015年度予算についても、前年度見込みを参考にした結果として収支差額マイナスの赤字予算の予想であること、等の報告があった。財政健全化に向けて、会員の増加を図り、収入を増やす努力が必要との認識が示されるとともに2013年度決算見込み及び2014年度予算も満場一致で承認された。

5. 2016年度学術集会会長の件〔審議事項〕

大磯理事長から、前日の理事会で2016年度学術集会の会長に沖隆 教授（浜松医科大学 医学部 地域家庭医療学）を選出したと報告があり、満場一致で承認された。

6. 名誉会員・功労評議員推薦、評議員再任、新評議員の件〔審議事項〕

島津常務理事より、名誉会員、功労評議員の選考、評議員再任、新評議員の選考についての前日の理事会での検討結果の報告があった。

まず、井上 金治 功労評議員（埼玉大学 特任教授）、高野 加寿恵 功労評議員（東京女子医科大学 名誉教授）の2名を名誉会員として推薦したいとの説明があり、満場一致で承認された。

次に、太田 耕造 評議員（大崎市民病院 内科 院長）、寒川 賢治 評議員（国立循環器病研究センター研究所 所長）、坂本 長逸 評議員（日本医科大学 消化器内科学 教授）、中尾 一和 評議員（京都大学大学院 医学研究科 メディカルイノベーションセンター 教授）、山口 賢一 評議員（新潟大学大学院 歯学総合研究科 内部環境医学講座 基礎体液生理学 分野 講師）の5名を功労評議員として推薦したいとの説明があり、満場一致で承認された。

続いて、評議員の再任（再任評議員任期：2014年総会日～2018年総会日）について説明があり、以下の15名の評議員の再任が満場一致で承認された。

有田 順	有安 宏之	岩崎 泰正	尾仲 達史	菊水 健史
坂本 浩隆	杉原 仁	高橋 和広	塚原 伸治	二川原 健
前多 敬一郎	眞野 あすか	山内 直子	山田 久夫	渡部 肇

さらに、以下の7名の新評議員について、全員が選考資格を満たしているとの資格審査結果が報告され、全員の評議員就任が満場一致で承認された。

氏名（申請順）	所属	備考
小川 園子	筑波大学大学院 人間総合研究科	基礎
西森 克彦	東北大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻	基礎
束村 博子	名古屋大学大学院 生命農学研究科	基礎
山田 俊児	京都府立医科大学大学院 医学研究科	基礎
松田 賢一	京都府立医科大学大学院 医学研究科	基礎
福岡 秀規	神戸大学大学院 医学研究科	臨床
橋本 貢士	東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科	臨床

7. 特別功労賞、学会賞、川上賞、若手研究帝人ファーマ助成金、若手研究奨励賞（YIA）の件 [審議／報告事項]

中里雅光 次世代育成担当常務理事より、選考委員会（持ち回り審議）の審査、答申を受けて、本年4月25日の理事会で審議した結果、入江 實 名誉会員（公益財団法人 成長科学協会 名誉顧問）を特別功労賞受賞者に選考したとの説明があり、満場一致で承認された。

続いて、同常務理事より、選考委員会の審査、答申を受けた本年4月25日の理事会で、大磯 ユタカ 理事長（名古屋大学大学院 医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学 教授）が学会賞受賞者に決定したとの報告があった。

続いて、同常務理事より、選考委員会の審査、答申を受けた本年4月25日の理事会で、根本 崇宏 評議員（日本医科大学 生理学講座 生体統御学 准教授）ならびに佐藤 貴弘 会員（久留米大学 分子生命科学研究科 遺伝情報研究部門准教授）を川上受賞者に決定したとの報告があった。

さらに、同常務理事より、選考委員会の審査、答申を受けた本年4月25日の理事会で、萩原 大輔 会員（名古屋大学大学院 医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）を若手研究帝

人ファーマ助成金受賞者に決定したとの報告があった。

最後に、岩崎学術集会会長より、10名の応募者の中から、本日午前の口演審査とその後の選考委員会での厳正な審査を経て、柿沢 圭亮 会員（浜松医科大学 医学部 第二内科）、東 慶成 会員（名古屋大学大学院 医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）、吉田 彩舟 会員（明治大学大学院 農学研究科生命科学専攻 遺伝情報制御学研究室）の3名を若手研究奨励賞（YIA）受賞者に決定したことが報告された。

以上の5つの受賞者については、総会後に表彰式を行うことが同会長よりアナウンスされた。

8. Newsletter 発行について [報告事項]

上田陽一 企画広報担当常務理事より、ニューズレターNo. 19 (2013年12月) およびNo. 20 (2014年6月) を予定通り発行したこと、次回のNo. 21は、第41回学術集会やその他の神経内分泌に関連する学会の記事、各賞の受賞者紹介を中心に2014年12月に発行の予定であることが報告された。

9. 第42回学術集会の準備状況について [報告事項]

次期学術集会会長の井樋慶一 理事（東北大学大学院情報科学研究科情報生物学分野、東北大学大学院医学系研究科神経内分泌学分野）より、第42回学術集会の概要に関し、「Neuroendocrinology: Vision of a New Era 新時代を展望する神経内分泌学」をテーマに、2015年9月18日（金）、19日（土）に仙台市戦災復興記念館（仙台市青葉区）において、第23回日本行動神経内分泌研究会と合同開催するとの紹介があった。

10. その他 [報告事項]

1) 2018年度日本内分泌学会学術総会の会長候補推薦について

大磯理事長より、本学会からの被推薦者として中里雅光常務理事が理事全員の賛同を経てノミネートされ、中里先生を日本内分泌学会に推薦したことが報告された。

2) 国際神経内分泌連盟（INF）の役員について

大磯理事長より、島津常務理事が日本代表評議員（Council Representative）としてICN2014会期中のINF Council Meetingに出席されたこと、上田常務理事が書記（Secretary）候補とし、次回会議での信任投票で最終決定されることが報告された。

3) 第8回国際神経内分泌学会議（ICN2014、シドニー）について

上田常務理事より、サテライトミーティングがICN2014の前日に日本神経内分泌学会の支援のもとで開催されたこと、一方、ICN2014は、本年8月17日（日）～20日（水）の4日間、Hilton Sydneyにて第18回国際行動神経内分泌学会との共催で開催されたこと、さらに、次回は平成30年（2018年）7月15日（日）～18日（水）、カナダ・トロントで開催予定であることが報告された。

4) 日本脳科学関連学会連合：第3回評議員会について

上田常務理事より、本年6月13日開催の日本脳科学関連学会連合・評議員会において、年度活動報告、日本学術会議マスタープラン申請、次期役員選出、会員学会の拡大、決算・予算の承認がなされたとの報告があった。

5) 第89回日本内分泌学会学術総会 第1回プログラム委員会について

上田常務理事より、第89回学術総会（2016年4月21日～23日、国立京都国際会館、島津章 会長）の特別演題アンケートへの回答を含め、第1回プログラム委員会の結果報告があった。

最後に、議長（岩崎学術集会会長）より、今年度の評議員会・総会に諮る追加の審議あるいは報告案件がないことが確認され、本年度の評議員会・総会は下記の挨拶をもって閉会した。

ご挨拶など

最後に、大磯現理事長、島津新理事長ならびに第43回学術集会会長（沖教授）の挨拶に続いて、岩崎会長より、第41回学術集会開催に当たっての挨拶と280名を超える参加者を得たことへのお礼が述べられた。

（理事長、各常務理事 校閲済）